

鋼橋技術研究会
海外橋梁技術研究部会
設計技術研究分科会

昭和~~62~~年度報告書

67

昭和62年3月

I . ま え が き

この報告書は、昭和60年度および昭和61年度における設計技術研究分科会の、活動の成果をとりまとめた研究成果報告書である。

設計技術研究分科会は、海外橋梁技術研究部会を構成する3つの分科会の1つとして、昭和60年度より実質的活動を開始した。初年度は研究が緒についたばかりであり中間報告書すら作成しなかったため、分科会としては今回がはじめての報告書となる。

今年度までの研究は海外橋梁構造のいわば事例研究であり、これをもとにした設計思想の考察はまだごく一部分にとどまっている。研究の対象とした橋梁は桁橋6，トラス橋1，アーチ橋1，斜張橋3および吊橋4の合計15橋である。構造を理解するには図が必要であるので報告書のページ数は多いままとした。

研究すべき海外橋梁の事例はまだ多いが、この報告書が会員の技術向上にいくらかでも役立つことができれば幸いである。